

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 6月29日

浜松市長 鈴木 康友 殿

提出者

住所 静岡県浜松市東区中田町846番地

氏名 東海染工(株)浜松事業所
事業所長 鷲 裕一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 053-461-9141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東海染工株式会社浜松事業所
事業場の所在地	浜松市東区中田町846番地
計画期間	平成28年4月1日から平成29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	染色整理業
② 事業の規模	4,437百万円
③ 従業員数	202名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- (1) 工場の長を「産業廃棄物統括責任者」とし、工場における産業廃棄物に関し統括する。
- (2) 総務課長を「産業廃棄物処理責任者」とし、工場（経理、業務、設管理etc）における産業廃棄物に関し、統括する。
- (3) 廃棄物関係の経理、行政への報告、社員教育を担当する部門として、「総務課」
廃棄物の搬出、減量化、再生利用の研究等を担当する部門及び、処理施設の維持管理、整備計画等を担当する部門として「生産施設課」を置く。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ①圧縮機導入による、廃プラスチック類のボリュームの減少 ②活性汚泥処理増強による、脱水汚泥の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ①廃繊維品の再生化（絨毛業者による商品化）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①品目ごとの保管場所の設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①廃繊維品の再生利用品目の選定

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ①反物の紙管の再利用 ②染料缶を産廃処理していたが、計量溶解容器に使用（別途購入していた）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
（これまでに実施した取組） ①脱水汚泥の凝集剤のテスト（含水率の低下）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
（今後実施する予定の取組） ①—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ①—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ①—		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	— t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ①処理委託業者の選定及び処理委託業者の集約		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	— t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ①更なる処理委託業者の選定及び処理委託業者の集約 ②処理委託業者後の埋立の産業廃棄物を埋め立てから再生業者に変更(燃えがら)		
※事務処理欄			

産業廃棄物発生量の目録

品名	①産業廃棄物発生量 発生量	②自己処理 発生量	③自己処理 増加分量 発生量	④自己処理 処理量 発生量	⑤自己処理 処理量 発生量	⑥自己処理 処理量 発生量	⑦自己処理 処理量 発生量	⑧委託処分	
								発生量	発生量
汚泥	9526t	0	0	1454t	0	0	0	1448t	6t
廃プラスチック類	330	0	0	1454t	0	0	0	1454t	24t
燃焼くず	500	0	0	0	0	0	0	0	24t
金属くず	24	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	30	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス類	30	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	18	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10358	0	0	1454	0	0	0	1448	54

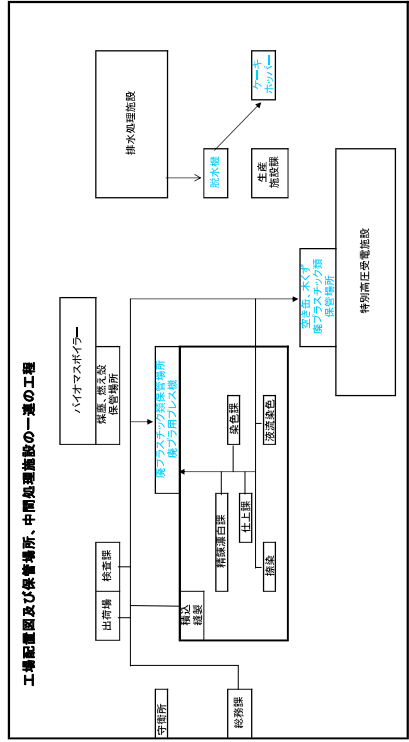
(単位 ton)活性汚泥の幹出量のみ

産業廃棄物の一連の処理の工程および自社の中間処理、委託処分量(ton)

処理項目	①発生量	②自己処理 発生量	③自己処理 増加分量 発生量	④自己処理 処理量 発生量	⑤自己処理 処理量 発生量	⑥自己処理 処理量 発生量	⑦自己処理 処理量 発生量	⑧委託処分	
								発生量	発生量
汚泥	9526	0	0	1454	0	0	0	1448	6
廃プラスチック類	330	0	0	1454	0	0	0	1454	24
燃焼くず	500	0	0	0	0	0	0	0	24
金属くず	24	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	30	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス類	30	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	18	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10358	0	0	1454	0	0	0	1448	54

(単位 ton)活性汚泥の幹出量のみ

①の処理工程欄は産業廃棄物の発生場所



工場配管図及び保管場所、中間処理施設の一連の工程

